

# ヨコレイ NOTE VOL.36

## 第79期中間報告書

2025年10月1日～2026年3月31日

### ごあいさつ・財務ハイライト

## 「人」に「もの」に「地球」に“やさしい”食品流通のエキスパート

株主の皆さまにおかれましては、日ごろより格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第79期中間期(2025年10月1日～2026年3月31日)は、緩やかな回復基調を維持しつつも、中東情勢の緊迫化による原油価格高騰や円安、それに伴う燃料価格の上昇や先行き不安から景況感が悪化しました。中東情勢や日中関係など不透明な状況が継続しており、日本経済をはじめ世界経済の不確実性は高まっております。

このような状況のなか、最終年度となりました新・中期経営計画(第II期)「繋ぐ力」に基づき、冷蔵倉庫事業では「積み重ねてきた高品質な物流で国内外の課題を解消し、お客様へスマートコールドサービスを提供」、食品販売事業では「国内外の生産者とのネットワークを活かし、目利き力により旬や美味しさをお客様へ」を方針とし、各重点戦略に取り組んでおります。

当中間連結会計期間の連結経営成績は、売上高64,228百万円(前期比1.3%増)、営業利益4,106百万円(前期比35.0%増)、経常利益4,304百万円(前期比65.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益2,849百万円(前期比70.5%増)となりました。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

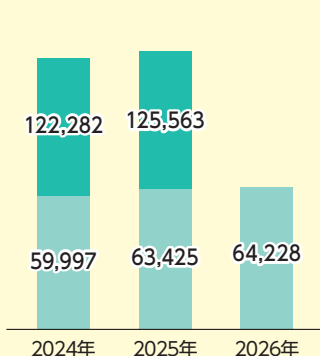


代表取締役社長 **古瀬 健児**

### 財務ハイライト

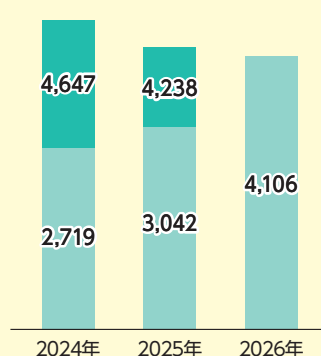
#### 売上高 (百万円)

■ 中間 ■ 通期



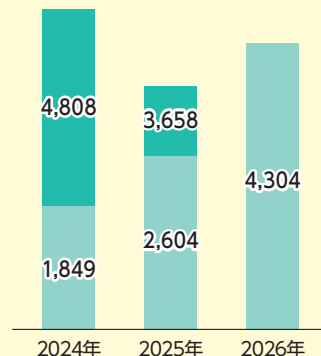
#### 営業利益 (百万円)

■ 中間 ■ 通期



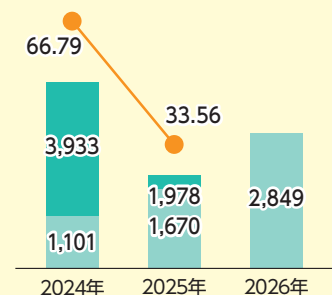
#### 経常利益 (百万円)

■ 中間 ■ 通期



#### 親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益(百万円) / 1株当たり当期純利益(円)

■ 中間 ■ 通期 ● 1株当たり  
当期純利益



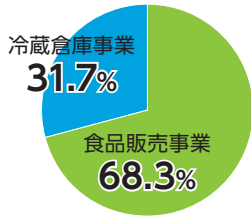


当中間期の概況

事業別売上高構成比

当中間期(2026年9月期)  
売上高合計

**64,228**百万円



中東情勢の緊迫化による原油価格高騰や円安、それに伴う燃料価格の上昇等、経済環境は引き続き不透明な状況。

最終年度となる新・中期経営計画(第II期)「繋ぐ力」に基づき、冷蔵倉庫事業、食品販売事業ともに、各重点戦略に取り組む。

事業別の概況

冷蔵倉庫事業

主に冷凍食品の取扱いが増加し、入庫量、出庫量、在庫量すべてにおいて前期を上回ったほか、料金改定交渉も進み、増収増益。

連結子会社のタイヨコレイにおいては、入庫量、出庫量は若干減少したが、それらを上回る前期からの高水準の在庫率を維持したこと、国内と同様に料金改定交渉も進めていることにより、増収増益。

当事業の業績は、売上高20,359百万円(前期比10.3%増)、営業利益4,793百万円(前期比10.7%増)の増収増益。中間連結会計期間としては冷蔵倉庫事業セグメントの過去最高益を更新。

食品販売事業

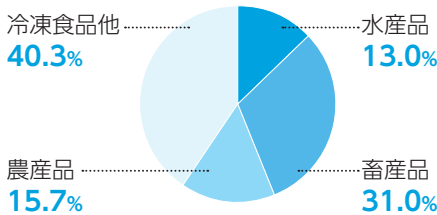
水産品は、九州前浜のサバやイワシの輸出用や国内加工原料向け販売が利益に貢献。エビ、タコ、イカについては売上・利益ともに減少したものの、水産品全体では減収増益。

畜産品は、ポークは国産への需要シフトにより売上高が減少、チキンも取扱数量が減少したものの、ともに利益面では好調を維持。畜産品全体では減収増益。

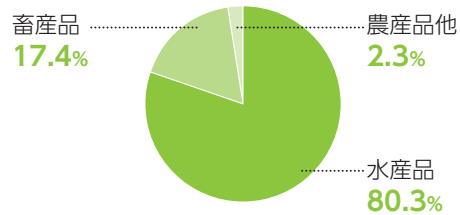
農産品は主力のイモ類が不作の影響を受けたものの、相場高騰局面での販売強化により増収増益。

当事業の業績は、売上高43,853百万円(前期比2.5%減)、営業利益1,450百万円(前期比107.3%増)の減収増益。中間連結会計期間としては食品販売事業セグメントの過去最高益を更新。

当中間期入庫量品目別割合

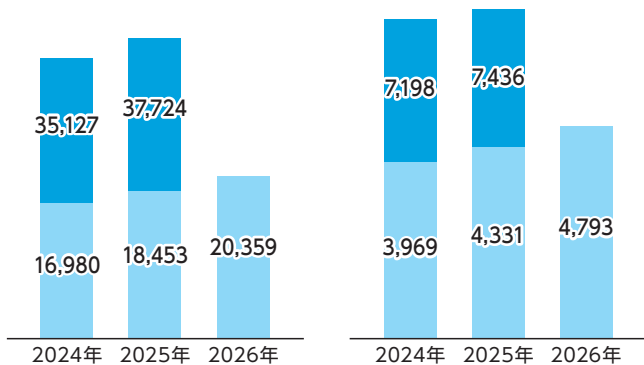


当中間期品目別売上高構成比



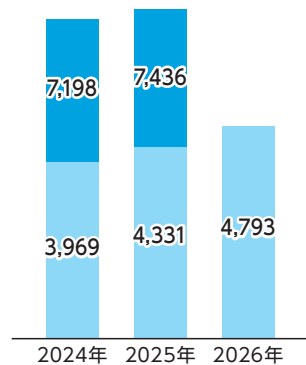
売上高

■ 中間 ■ 通期 (百万円)



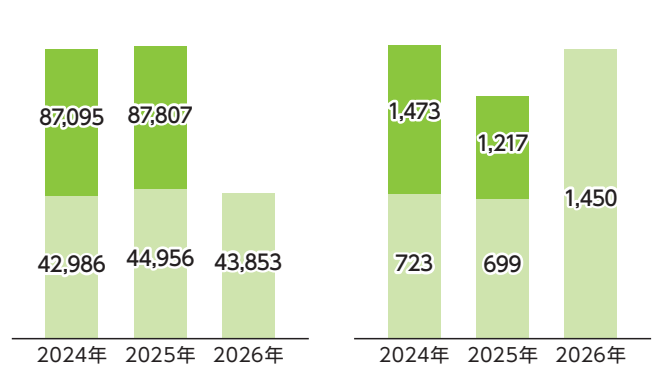
営業利益

■ 中間 ■ 通期 (百万円)



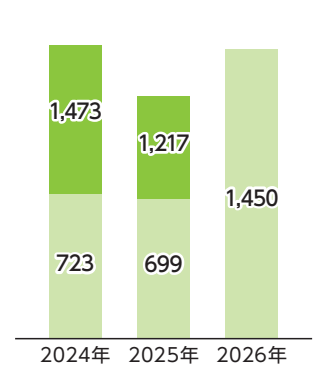
売上高

■ 中間 ■ 通期 (百万円)



営業利益

■ 中間 ■ 通期 (百万円)



今期の見通しと業績予想について

冷蔵倉庫事業は、直近2期間で竣工した物流センターによる減価償却費の増加はあったものの、上期は順調に推移し計画を大幅に上回りました。下期も引き続き順調に推移する見込みで、増収増益となる見通しです。食品販売事業は、利益率重視の事業構造転換を進め、低採算取引の見直しや在庫管理の徹底等により利益率が大幅に向上しており、引き続き順調な推移が見込まれます。以上を踏まえ、通期の連結業績予想を右記の通り上方修正いたしました。

売上高	1,250	億円
営業利益	70	億円
経常利益	64	億円
親会社株主に帰属する当期純利益	48	億円
1株当たり当期純利益	81	円27銭

# What's ヨコレイ

VOL.15  
ホームページを  
リニューアル

2026年1月6日(火)、当社ホームページをリニューアルいたしました。是非、右記の二次元コードからご覧いただけますと幸いです。

これからも皆さまに有益な情報を素早く、的確に提供するため、コンテンツの拡大や機能改善に努めてまいります。



<https://www.yokorei.co.jp/>

## Business

### 事業案内

事業について詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。冷蔵倉庫事業と食品販売事業について、それぞれ事業内容や強み、事業所の一覧などを発信しています。



冷蔵倉庫事業



食品販売事業

## 早わかりヨコレイ

ヨコレイについて知りたい方は、まずはこちらをご覧ください。ヨコレイのビジネス、数字でみるヨコレイ、ヨコレイが選ばれる3つの理由を発信しています。



## News

### お知らせ

最新情報についてはこちらからご覧ください。



## Investor Relations

### 株主・投資家情報

株主・投資家の皆さま向けの情報を多数掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



## Sustainability

### サステナビリティ

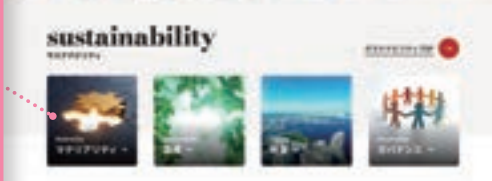
マテリアリティやサステナビリティに関する取り組みについてはこちらからご覧ください。



## Recruiting Site

### 採用ページ

採用ページにリンクしています。



## 増配のお知らせ

当社は、株主の皆さまへの安定的かつ継続的な利益還元を重要な経営課題の一つと認識し、累進配当を実施しております。  
2026年3月31日を基準日とする中間配当につきましては、当初配当予想の1株当たり12円から、**1円増配の13円**とすることといたしました。また、上記の方針に基づき、期末配当予想につきましても、1株当たり12円から**2円増配の14円**を見込んでおり、年間配当は**27円**を予定しております。

## ベンルック物流センター BRC認証を取得しました

この度ベトナムヨコレイベンルック物流センターにおいて、BRC認証<sup>\*</sup>を正式に取得いたしました。今回の認証取得は、当社が推進するアセアン地域戦略において大きな意義を持つものです。とりわけ成長著しいベトナム市場においては、国際標準に適合した品質保証体制の確立が、現地企業や輸出入パートナーとの連携強化につながり、当社の事業展開をより確固たるものにする重要な基盤となります。今後も、国際基準に基づく安全・品質管理を徹底し、アセアンをはじめとするグローバル市場における信頼性の更なる向上を目指してまいります。



<sup>\*</sup> BRC認証：食品の安全性、品質管理に関する国際的な認証制度

## 株主還元方針

### ■ 配当方針

当社は、株主の皆さまに対する利益還元の実施を重要な経営課題の一つとして認識し、企業価値向上に必要な設備・IT投資等を勘案しつつ、安定的な配当を継続して行うことを基本方針としています。今期におきまして、業績が堅調に推移したことを踏まえ、株主の皆さまのご支援にお応えすべく、増配を実施させていただきます。

1株当たり年間配当金

**27円** (中間配当)  
予定 (13円)

### ■ 株主優待

株主の皆さまからの日頃のご支援に対する感謝と、ヨコレイグループの事業内容へのご理解をより一層深めていただきたいとの思いから、年1回、以下の基準にて、ヨコレイグループ取扱商品を使用した株主優待を実施しています。

### ■ ご優待内容<sup>\*1</sup>および対象となる株主様

① 3,000株以上かつ1年以上 保有の株主さま<sup>\*2</sup>

「北海道産のホタテ・いくらセット」

② 1,000株以上～3,000株未満かつ1年以上 保有の株主さま<sup>\*2</sup>

「ノルウェー産サーモントラウト製品・  
国産うなぎ蒲焼セット」

●実施時期  
11月  
下旬～



<sup>\*</sup>1 ご優待内容は2025年9月期の実績です。内容・パッケージ等が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

<sup>\*</sup>2 9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された当該株数保有の株主様のうち、1年以上同じ株主番号で継続して当社株式を保有されている株主様が対象となります。

## 会社情報・株主メモ (2026年3月31日現在)

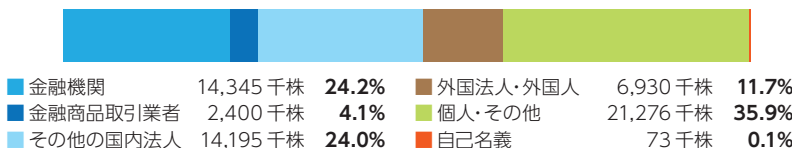
### 会社概要

会社名 横浜冷凍株式会社  
本社所在地 〒220-0012  
横浜市西区みなとみらい三丁目3番3号  
横浜コネクスクエア10階  
TEL: 045-210-0011 (代表)  
FAX: 045-210-0018  
設立 1948年5月13日  
資本金 14,303,426,625円  
従業員数 連結 1,803名 単独 1,444名

### 株式の状況

発行可能株式総数 …… 160,000,000株 株主数 …… 14,779名  
発行済株式の総数 …… 59,222,784株

### ■ 所有者別株式分布状況



### 株主メモ

事業年度	10月1日より翌年9月30日まで
定時株主総会	12月
基準日	定時株主総会の議決権 9月30日
	剰余金の期末配当 9月30日
	剰余金の中間配当 3月31日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告した日
公告の方法	電子公告 ※電子公告は当社ホームページに掲載します。 なお、やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載します。 https://www.yokorei.co.jp/investors/publication/index.html

単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所(プライム)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	東京都府中市日鋼町1-1
	電話 0120-232-711(通話料無料)
	郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

### (ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。